



中丹高次脳機能障害者と家族の会

“さくらの会”便り

No111号 2018 1 10

発行責任者
会 長 田中 明
編集責任者
事務局長 上原 栄
Tel.0773-22-7859

ーリラックスできて、はげまし合うところ、勇気を与えられるところー



新春交流会 「サロンさくら」 を開きます

平成30年新春交流会「サロンさくら」を、1月28日(日) 10時～15時30分 綾部市保健福祉センターで開きます。

昨年、調理実習をしたところ、とても好評だったので、今年も、午前中、当事者の方は、綾部市食生活改善推進協議会の方の指導のもと、3種類のおかずとデザートを作ります。

出来上がった料理を、指導者の皆さんも交えて召し上がりながら、交流を深めます。

午後からは、音楽療法士の土手緑様の指導のもと「歌って・動いて・笑いましょう!」と題して、歌を通じて皆さんと楽しみます。

セラピストの方も、新春交流会に是非参加してください。お待ちしております。

お願い

車椅子の当事者の方も調理実習をして頂きます。

支援会員の皆さんの応援が必要です。お手伝いお願いします。是非、応援してください。

材料の準備もありますので、1月24日(水)までに下記、世話役まで連絡下さい

連絡先 西村正弘 0773-27-6528

山本静子 0773-49-0584

廣野直子 0773-42-6881

参加費はさくらの会負担(訓練教材の為)
持ってくるものは 三角巾
(てぬぐい)、マスク、
エプロンです。



《当日スケジュール》

10時00分～11時30分

調理実習(鮭のホイル焼き・豚汁・

紅白柿なます・抹茶わらび餅)

指導 綾部市食改・山家グループ

家族の方は家族懇談会

11時30分～12時45分

配膳し全員で会食・交流

12時45分～13時00分

後片付け



13時00分～14時30分

「うたって・動いて・笑いましょう!」

指導 音楽療法士 土手緑先生

14時30分～15時30分

茶菓子で交流



参加者の声

- 納谷先生の話に、うなずくことばかり。とてもよかった。
- 当事者の発表が良かった。周りの方々の援助が大きかったと思う。

12月15日、山添さん親子（パネラー）他3名が丹後地域リハビリテーション支援センター主催の第3回事例検討会に参加してきました。

高次脳機能障害・当事者とその家族の思い 「聞いて・感じて・考えて見ませんか？」というタイトルで、高次脳機能障害についての話のあと、当事者及び家族の発表、グループワークの3部構成で行われました。

コンパクトながら、とても有意義な事例検討会でした。このような検討会に当事者・家族が参加されることで、世界が広がることと思います。福知山・綾部以上に交通不便地の丹後地方の実態も少しわかりました。当事者・家族が、孤立しないよう、セラピスト・福祉関係の方々の連携がより一層大事だと思いました。

上原保子

丹後の事例検討会に参加

第19回脳外傷・高次脳機能障リハビリテーション講習会が11月26日(日)に綾部市保健福祉センターにて、開催されました。

「脳損傷者家族の想い、家族会活動がもたらしたもの」と題して、堺脳損傷協会会長納谷保子さんの講演があり、120名の参加がありました。

納谷保子さんは、1999年6月に息子さんが事故に遭われ、事故後仕事中心の生活から、介護中心に変わっていった経験をお話されました。納谷さんを支えてくれたのは、家族、福祉制度、そして家族会だと。また、親亡き後の生活を保障の事も考えておられました。



2部では、さくらの会・当事者（綾部作業所）からの報告がありました。

「さくらの会」からは、活動報告のあと、2家族から、グループ訓練に参加してよ

かったこと、地域の支援体制の土台作りやグループホーム設置などの想いを発表しました。当事者（綾部作業所）からは、事故の状況、入院中の事、退院後、現在の状況を、自分の言葉で発表され、本人の状況がよく分かりました。

【編集後記】
▼暖かい三ヶ日が、あつという間に過ぎ
てしまいました。
▼おいしい物ばかり
食べて、胃がもたれ
気味
▼体重計に乗るのが
こわい！
▼皆さん、今年も楽
しくやっていきましょ
う。